



人から人へ愛のプレゼント

やまぐち 複合バンクだより

No.18

平成24年3月15日

山口市滝町1-1 (山口県地域医療推進室内) TEL083 (932) 0743 FAX083 (933) 2939

URL <http://www.y-ishoku.org>E-mail bank2@crocus.ocn.ne.jp

発行者：財団法人やまぐち角膜・腎臓等複合バンク

ごあいさつ



財団法人やまぐち角膜腎臓等複合バンク

理事長 岡 正朗

平素より、当財団のアイバンク事業及び移植医療の普及啓発活動について、皆様から多大な御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成22年7月に改正臓器移植法が全面施行され、1年半が経過しました。運転免許証や健康保険被保険者証の裏面に臓器提供意思表示欄が新たに設けられたことで、皆様も日常生活の中で臓器提供について意識される機会が増えたのではないのでしょうか。

加えて、ご本人の生前の意思表示が不明な場合、ご家族の同意で臓器の提供が可能になったことから、国内における脳死下臓器提供の数は着実に増加しております。法改正前は13年間で86件にとどまっていた脳死下提供事例が、昨年1年間で44件に上っています。また、未成年者からの臓器提供が2件、親族への臓器の優先提供も2件と、法改正の目的であった臓器移植の機会の拡大が国全体で図られつつあります。

本県においても、県民の皆様の移植医療に対する関心の高まりを受けてか、平成22年度には前年度を大きく上回る16人の方から角膜の御提供をいただきました。提供者の方々の尊い意思に謹んで深謝申し上げるとともに、移植医療に対して皆様の理解が広がっていることに対し、感慨に堪えません。脳死下臓器提供についても、県内においては未だ事例がありませんが、さまざまな方法で臓器提供の意思表示をされる方が増えている中で、医療現場では「いつ発生してもおかしくない」状況とされています。当財団としましては、ご本人の尊い意思にお応えするべく、県内の臓器提供施設となる医療機関の御理解・御協力を得て、移植医療体制の整備に努めているところです。

さて、私ども財団法人やまぐち角膜・腎臓等は国の公益法人制度改革に対応するため、山口県から「公益認定」を受けて新たに「公益財団法人」となることとし、平成24年4月1日からの新法人移行を目指して現在事務手続を進めているところです。公益財団法人となることで、寄附金の税制面での優遇措置等の恩恵を受ける一方、事業の公益性や財団の運営について官公庁から厳しい監督を受けることとなります。

当財団としましては、山口県におけるアイバンク事業の担い手として、また移植医療の普及啓発をその目的とする法人として、県内で臓器移植を待っておられる方々にその機会を提供するため、また一人でも多くの方に臓器移植についてのご理解を深めていただくため、これまで以上に誠心誠意取り組み進めたい所存です。今後も皆様におかれましては、当財団の活動に対してご参加とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

父の献眼



新南陽市

国広佳子

平成23年9月新南陽若山ライオンズクラブ歌謡チャリティーショーで発表されたお話です。

御紹介いただきました国広と申します。

こんなにたくさんいらっしゃる皆様の前で、まさか父のことについてお話しをさせていただくなんて思ってもおりませんでしたので、今とっても緊張しています。

只今、御紹介がありましたように、私は、毎年、新南陽若山ライオンズクラブが開催される歌謡チャリティーショーのお手伝いをさせていただくようになりまして、角膜の提供・献眼について少しずつ理解もし、お役に立てたらいいなと思うようになって参りました。

皆様も御両親については、さまざまな思い出をもっておられると思います。

私の父は、戦争に行った経験がありますので、それはそれは厳格な父でした。用事を頼まれてすぐに「はい」と返事をしないと怒鳴るし、怒るし、叩かれるし、又、父が食卓に座るまでに先に食事をしていたりすると、お膳ではなくてテーブルがひっくり返るといふワンマンな父でした。

このような時には、「こんな人は、私の父ではない」といって泣きました。

でも、今、思い出しながら振り返って見ると、食事をする時はみんなが揃って「いただきます」といい、料理を作ってくれた母には「おいしいよ」といってあげる。又、家族の為に一生懸命働いている父を家の長として大切に思うという家族への絆や、思いやりの心を父は私達に教えていたんだと思います。

私が徳山に嫁いで来ると、父は「お前がおらんと寂しい」といって、家も山も畑もみんな売って徳山に家族が越してきました。

私に長女が生まれると、毎日、毎日、孫の顔を見に来ておりました。あんなに厳格な父も年を取ってくると少しは、折れるところは折れるようになってきたので、ほっとしておりました。

父が80才の時、母の体調が悪くなって、ほとんど寝たきりの状態になりました。その3年間、在宅介護をやり遂げました。

母が亡くなってからしばらくして、妹のいる福島県郡山市に引っ越して行きましたが、どうしても私と一緒に暮らしたいと毎日手紙が届くので、私も仕方なしに主人に「父をここに呼んで、一緒に暮らしてもいい？」と相談しましたが、すぐにはOKが出ませんでした。

それなら「私は、貴方と別れても父を見てあげたいから」と、少々主人をおどしたら「そねえゆうんならマーエエヨ」と、OKが出ました。

それから、あの気難しい父との生活が始まりました。4年間は、それなりに穏やかな日々を過ごしておりました。それから間もなく、入院生活が始まり、私は、この頃から、角膜提供・献眼のことを考えるようになりました。父は病院で8年間を過ごしました。



去年（平成22年）の10月の中頃から、病院から度々電話がかかってくるようになり、家族は落ち着かない時間を過ごしておりました。

この時、新南陽若山ライオンズクラブの山本二雄さんに、「献眼することを決めました。その時はよろしくお願い致します。」と、お願いをしておきました。

父は10月22日に亡くなりました。96才でした。父が亡くなって一番最初に電話をしたのは、ライオンズの山本さんでした。山本さんはすぐ山口のアイバンクの小野村さんに連絡をして下さいました。父は、登録はしていませんが、平

成21年に臓器移植法が大幅に改正されて、昨年の7月に全面的に施行され、亡くなった本人の提供意思がなくても家族の同意により提供が可能になったからと、OKでした。

夜の12時頃に、病院から葬儀場へ移動いたしました。葬儀場についたら、山本さんはもう来て、待っておられました。宇部から先生が来られるのを待っている間、悲しいという思いよりも、角膜の摘出はどんなことをするのかと、不安な気持ちと心配ばかりしておりました。午前3時過ぎに宇部市から眼科の先生が来られて、すぐに角膜摘出にとりかかられました。私はこわくて見る事が出来ませんでした。時間は30分位しかたっていませんでした。先生が、「終わりましたヨ」と言われたので、父の顔をのぞきこんで、じろじろと見ましたが、何もかわったところもなく目もきちんと形よく閉じて眠っているように見えました。

私はこんなに簡単に出来るのなら、心配することはないと思いました。もっと、たくさんの

方々に理解していただけるようにと、私は今、お友達に声をかけております。妹たちも、こういうことがあることを知らなかったのだから、人を助けてあげることが出来たと喜んでおります。頑固一徹の父でしたが、96才までの人生の最後に角膜の提供が出来たということで、優しい気持ちと、暖かい気持ちがプラスされた父に、生まれ変わってくれたような気がします。

一度きりの尊い命が終っても、困っている人の光となって生きつづけられることに「父はきっと、お前はええことをしてくれた」と喜んでくれていると思っております。

このような父ですが、人のお役にたてて一生を結ぶことの幸せを、私は何ともいえない暖かいものを感じているところです。ライオンズの山本二雄さんは、お通夜からお葬式まで、最初から最後まで一生懸命心を配って下さいました。

心から感謝申し上げます。

父の献眼について、お話しをさせていただきました。御清聴ありがとうございました。

臓器提供者ご家族のお話 ~平成23年度 臓器提供施設講演会より~

皆さん、今晚は。今日は家内が好きだった赤い服を着て、一緒に来ました。だから年の割にはええ格好です。家内は68歳で亡くなったのですが、若いときからこのシャツを着てスキーに行ったり、農作業をしたりしていました。

家内は、とても我慢強かったです。小学3年のころに鉄棒から飛び降りて腕を骨折したそうです。その時に「この腕は自分が折ったのだから、その痛みでこれが出来んとか、えらいからもうだめということは絶対に言うな。」と父親に言われたみたいです。家内が倒れた日はたまたま私も家にいました。朝から昼まで山に作業に行き、帰った時に「えらいから5分ほど休む。」と言いました。結婚して46・7年になりますが、それまで祝日でも家内が休んだのを見たことがありませんでした。「そりゃあもう遠慮せんとずっと寝とけ。」と言ったのに少ししたら一生懸命ガレキを運んで

いました。私は用事があるから出かけて、帰りに友達のところに寄ってケーキとコーヒーをご馳走になりました。それを飲まずに帰ればまだ早く気がついたのですが、猫舌なので冷めるまで20分くらい待ち、ごちそうになって帰ったら台所で倒れている家内を見つけました。まだ意識はあったので救急車を呼ぼうと言うと、「こうして横になって5分ほど休めば治る。」と言うんです。それでもすぐ家内の妹に電話で相談して、救急車を呼びました。家内は救急車には乗らんといいながらも吐きそうだからトイレに行くと言い、そのうち寒いと言ってだんだん呂律も回らなくなり、救急車が来た時には意識はなかったで



す。ただ、日ごろは骨折の影響で拳がりにくい腕がしっかり私の首に掛かっていて、よつぼどえらかったか、最後のお別れと抱きついたと思います。家内を救急車に乗せて私は後を追ったのですが、車があるのに自転車に乗っていて家に引き返したくらい気が動転していました。

病院では医師から「手術ができない所の太い血管が切れている。」と言われました。それならと、「家内は臓器を提供したいと言って免許書入れの中にカードを入れている。」と伝えました。医師にカードを確認させてくれと言われ子供と一緒に探したのですが、動転しているからの外れなところを探したりしてなかなか見つからずさんざん探し、結局台所の食卓の上で見つけました。それを医師に見せ、「取れるものはみんな取って、最後には献体に出してくれと言っていた。」と伝えました。結局その病院で可能な腎臓と角膜を提供することになり、移植コーディネーターから話を聞き何度も意思の確認をされるので、その都度家族にも確認しました。子供も小さいころからお母さんが死んだらみんなあげるように言われていたから家族の意思も強く、家族に迷いはありませんでした。今では家族全員登録しています。

入院中にとっても感動したことは、処置の度に声をかける看護師さんの姿です。私が「もう意識がないのに何でそんなことを言うのか。」と聞くと「ただ目が開かない、口が利けないというだけで分かるんですよ。」と言われました。それで血圧が下がった時に「もし、このまま意識が戻らず亡くなっても、生まれ変わったらもう一度結婚しよう。」って言うてみたら、カッと血圧が上がってそれから10日間心臓が動き続けました。また、娘が「すいませんね。長く生きて。」って看護師さんに言ったことがありました。すると看護師さんは「元気に生きる臓器ならもらう方にとってもすごくいいですよ。」と言われました。家内は「私が薬漬けだと亡くなった時に、臓器をあげる方に申し訳ない。」と言って血圧が高いので沢山の薬をもらっても、日頃から薬は全く飲みませんでした。もし、薬を飲んでいたらこういうことにはなっていなかったかもしれませんが、それが家内の考

えでした。本人は献体になることも望んでいたもので、今でも自分は献体にもなったと思っているかもしれません。

亡くなって3年経ちますが、今でも毎晩夢に出てきて話をしますので、今夜はどんな夢を見るかなと思うのが楽しみです。恐らく「もう一度生まれ変わったら結婚してくれ。」と言ったので「もう一度結婚なんて、なんちゃって。」と言っているのだと思います。今頃になっても親戚が大丈夫かと電話をしてくれます。私は「今はなき、妻の愛犬連れ歩き」の日々と答えています。

講演会出席者の感想

- 改めて、臓器提供を身近に感じる事ができた。
- ドナーファミリーの思いを聞く事ができ、温かい気持ちになった。
- ドナーファミリーの話聞く事でモチベーションが上がった。
- ドナーファミリーにはえてして暗い印象を持つが大変明るく、前向きな話が聞けて良かった。
- 今後も経験された方の話を聞く機会があれば良い。
- 看護学生などにも聞いてほしいと思った。



報告 山口県移植医療に関するワーキンググループ

移植医療の普及・啓発を推進するため、平成23年度に「山口県 移植医療に関するワーキンググループ」を設置し、県内各医療機関で臓器提供・臓器移植に携わる方々との意見交換の場を定期的に設けています。

平成23年度は9月と12月に会議を行いました。また、それと同日に「山口県院内コーディネーター会議」を開催したので概要をお知らせします。

第1回会議

臓器提供に関わられた経験を他県の院内コーディネーター及び脳神経外科医師よりご講演頂き、各病院の体制整備状況・課題等について話し合いました。

2例の脳死下臓器提供症例を経験して ～院内コーディネーターの立場から～

講師：福山市民病院

山部美智代 看護師長

刈谷 和子 看護師長

臓器提供に関する院内マニュアルを作成した直後に1例目の臓器提供患者様が発生しました。私達、看護師院内コーディネーターの役割は移植コーディネーターと院内関係者との連絡調整とご家族対応でした。当院には医師の院内コーディネーターがおり、医師間の調整はそちらへ任せましたが、ご家族がこのまま骨になるのは悔しいという思いで臓器提供を決心されました。私たち

はご家族のご希望をかなえてあげたい気持ちでいっぱいでした。多くの関係者がその為に協力しあったので無事ご提供いただく事が出来たと思います。臓器提供後には移植を受けられた方の状況を聞き、臓器提供に関わって良かったという達成感を得られました。しかし、臓器提供患者様の管理やマンパワー不足、手術立会いなど現場は負担を抱えていたと思います。これらを解消するために施設内の協力体制及び臓器移植ネットワークのバックアップは重要だと感じました。

臓器提供に主治医として関わられた経験報告

講師：山陰労災病院 脳神経外科部長

沼田 秀治 先生

山陰労災病院は人口14万程度の所にある決して大きくない病院。臓器を提供された患者様は以前からご家族と臓器提供について話し合われており、早い段階でご家族から申し出られた。当院にとって初めての事だったが、関係者一同団結して対応することが出来、割とスムーズに進める事が出来た。ただ、主治医をはじめとする臓器提供病院の負担は大きいので、いかにその負担を軽減させるかが課題である。

第2回会議

心停止後の臓器提供について取り上げ、ディスカッションをおこないました。多くのご意見をいただいたことで、今後の体制整備の方向性も見えてきたようです。

移植医療の出前講座をお引き受けします！

職場・地域での会合、学生さんへの講演等どんな機会でも、少しの時間でも無償で出前講座をお引き受けします。移植医療に関する正しい知識と情報をお伝えし、「いのち」について考えていただくことを通じて、移植医療について知っていただきたいと思ひます。

ご希望・ご質問等はいつでもご連絡ください。

連絡先：(財) やまぐち角膜・腎臓等複合バンク

☎ 083-932-0743

ライオンズクラブ活動報告

萩ライオンズクラブ福祉厚生員会副委員長 金子成志

「(財)やまぐち角膜・腎臓等複合バンク」支援自販機設置除幕式

11月24日11:00より萩ライオンズクラブ事務所駐車場において、来賓に萩市副市長滝口様、複合バンク事務局長 小野村様、萩市保健福祉部健康増進課課長 岡村様、福祉課課長 梅尾様、LC国際協会 336-D地区より6R 藤村CZC・増山3ZC 皆様をお迎えし、また多くのLCメンバーが参加して複合バンク支援自販機の除幕式を開催しました。

新谷会長より、1925年オハイオ州で開催された、第9回LC国際大会においてヘレンケラー女史の講演から始まった、盲人・視力障害者支援はLC活動の柱の一つであり、アイバンク支援は今後も力を入れていかなければならない活動である。との挨拶の後、ご来賓の方々にご挨拶を頂き除幕、1号機設置者による飲料の購入初めを行いました。

支援型自販機はコカコーラ(株)のCSR活動の一環で、飲料購入者が気軽にできるボランティア・自販機設置場所提供者の地域貢献・支援先の支援・普及啓発等、各方面に様々な効果のある活動と考え、アイバンク支援型自販機の設置を企画しました。支援先を“(財)やまぐち角膜・腎臓等複合バンク”とし、福祉厚生委員会で協議し理事会の承認を得て、デザイン・設置場所の検討を始めました。

一般的にアイバンクと臓器移植ネットワークの連携が確立されていないとの誤解があるため、複合バンクでは、アイバンク活動・臓器提供意思表示活動及び骨髄バンクの普及活動が行われている事を周知する必要があるのではとの思いから、複合バンクとコカコーラWEST(株)担当者・萩

LC担当者3者で協議し、アイバンクマスコット“アイちゃん”をメインとしたアイバンク仕様機と臓器移植ネットワークの“グリーンリボン”を配したグリーンリボン仕様機の2種類を提案、設置することにしました。

デザインについては、萩市は建物・広告物に対しての景観条例が制定されているので、色彩等に制限があり市の都市計画課・文化財保護課と調整修正の上、景観条例をクリアした色彩とし景観都市“萩”の街並みに配慮した独自の配色デザインが完成しました。

10月の臓器提供普及推進月間にあわせて設置の募集を開始し、本年度は“やまぐち国体・やまぐち大会”等が開催された関係もあり、11月の設置を予定し、本日の除幕となりました。萩市民の皆さんのみでなく、観光都市“萩”を観光で訪れられる全国の皆さんに、献眼・臓器提供意思表示の普及啓発ができればと思います。

やまぐち角膜・腎臓等複合バンク支援自販機の設置は、山口県内1号機とります。献眼登録・献眼実施者が減少傾向となりつつありますが、アイバンク活動の普及啓発活動により、一般の方にアイバンクの活動を周知して頂く新たなアイテムとして、支援自販機を各地で展開し、LC国際協会336-D地区各クラブ主導で各地域にアイバンク支援型自販機が普及する事により、各地区のアイバンクの支援、普及啓発が推進されるよう祈念し、本除幕式の報告とさせていただきます。

PS.最近では自販機1台1台に名前が付いています。アイバンク仕様機は“きみこ”グリーンリボン仕様機は“けんぞう”です。よろしくお願ひします。



除幕式



左側：アイバンク用 右側：臓器バンク用

ク・イ・ズ 貴方は何問正解???

質問

- Q1 角膜や臓器を提供する者を「ドナー」、提供を受けて移植手術を受ける者を「レシピエント」という。
- Q2 亡くなられた方だけではなく、存命の方も角膜や臓器の提供ができる。
- Q3 角膜や臓器の提供をしたら謝礼が貰える。
- Q4 癌を患っている人は角膜や臓器を提供することができない。
- Q5 角膜や臓器の提供と献体は同時に登録できる。

回答のヒントや移植に関する詳しい内容は、(財)やまぐち角膜腎臓等複合バンクのホームページ<http://www.y-ishoku.org>に掲載しています。

回答

- A1 ○ 慣れないと、聞き分けや発音がもどかしく感じますが、早く慣れるよう頑張りましょう。
- A2 △ 臓器の移植手術は存命の方(生体移植)と亡くなられた方(死体移植)が、角膜の移植手術は亡くなられた方(死体移植)があります。やまぐち角膜腎臓等複合バンクは亡くなられた方からのご提供をお手伝いさせていただきます。
- A3 × ドナーやドナーのご家族の善意によって、ご提供いただいていますので、謝礼などは全く発生しません。生体移植も同じで謝礼が発生することはありません。
- A4 × 可能です。ただし、眼内への癌転移の可能性がある場合や白血病、悪性リンパ腫などの血液腫瘍の場合はご提供をいただくことが不可能です。臓器の場合、癌や全身性の感染症で亡くなられたらご提供いただけない時もありますが、実際の臓器提供時に医学的検査をして判断します。
- A5 △ 角膜や腎臓など2つある臓器のご提供は可能です。(1つをご提供いただくようになります。)
- ただし、臓器提供に関しては献体登録をされている大学と相談の上で最終的に決定させていただきます。



「コーディネーター」コーナー



臓器移植コーディネーター 熊野佳美

臓器移植コーディネーターとして病院の方々、職場の仲間、そして家族など多くの人々に支えられていることに日々感謝しています。

この感謝の気持ちを忘れず、誠心誠意みな様の意思を叶えるお手伝いをさせていただきます。

臓器移植コーディネーター目指して猛勉強中 田代理恵

平成24年1月から復帰しました。臓器移植コーディネーターの資格取得目指して頑張っています。



アイコーディネーター 小野村昌子

事務局の業務や雑用掛も担当しているアイコーディネーターです。ドナー・ドナーのご家族に感謝しながら、初心に素直に頑張っています。

院内コーディネーター

各病院で移植医療について知っていただくための活動をしています。また、臓器提供をされる可能性のある患者さんの状況把握とそのご家族や院内各部署との調整を図る役割を担っています。

院内コーディネーター設置病院

平成24年1月現在

山口大学医学部附属病院	6名	宇部市南小串 1-1-1	0836-22-2211
山口県立総合医療センター	2名	防府市大崎 77	0835-22-4411
関門医療センター	1名	下関市貼付外浦町 1-1	083-241-1199
下関厚生病院	2名	下関市上新地 3-3-8	083-231-5811
宇部興産中央病院	3名	宇部市大字西岐波 750	0836-51-9221
徳山中央病院	4名	周南市孝田町 1-1	0834-28-4411
済生会下関中央病院	8名	下関市安岡町 8-5-1	083-262-2300
下関市立中央病院	3名	下関市向洋町 1-13-1	083-231-4111
山口赤十字病院	3名	山口市八幡馬場 53-1	083-923-0111
周東総合病院	4名	柳井市古開作 1000 番	0820-22-3456
済生会山口総合病院	2名	山口市緑町 2-11	083-901-6111
美祢市立病院	2名	美祢市大嶺町東分 1313-1	0837-52-1700
山口労災病院	5名	山陽小野田市大字小野田 1315-4	0836-83-2881
都志見病院	2名	萩市大字江向 413-1	0838-22-2811
岩国医療センター	1名	岩国市黒磯町 2-5-1	0827-31-7121

● 賛助会員ご加入、寄附のお願い ●

バンクは、病気で苦しんでおられる患者さんのために角膜や腎臓・骨髄などを提供して下さる方々とを結ぶ架け橋となるため、移植等に関する知識の普及と臓器提供者の確保に努めるため活動しております。

この活動を充実させるための費用は、皆様から寄せられたご厚志により支えられております。

本事業に積極的にご理解とご賛同をいただき、皆様の暖かいご支援をお待ちしております。

「香典のお返し」もいただいております。お礼状のハガキなどもご用意できますので、お気軽にご相談ください。

賛助会費 団体・法人会員 年会費 10 10,000円
個人会費 年会費 10 2,000円

寄付金 金額は問いません
賛助会費・寄付金の振り込みは
口座名：財やまぐち角膜・腎臓等複合バンク
山口銀行：県庁内支店 普通 6033617
郵便局：01300-2-78463

お問い合わせは

財団法人 やまぐち角膜・腎臓等複合バンク

電話：083-932-0743

FAX：083-933-2939

メール：bank2@crocus.ocn.ne.jp

献 腎 ・ 献 眼

尊いご意思をありがとうございました。平成22年12月から平成23年11月までの間に、献腎・献眼をされた方々です。

心から感謝申し上げますとともに謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

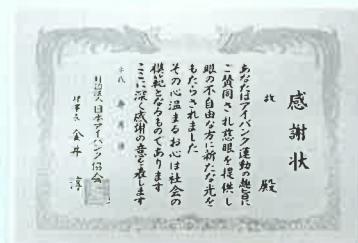
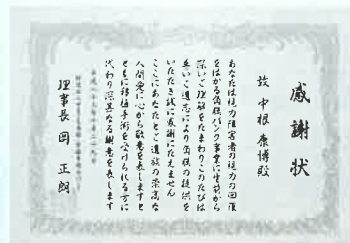
ご遺族様に（財）日本アイバンク協会理事長、及び（財）やまぐち角膜腎臓等複合バンク理事長から感謝状をお届けしました。

橋本ミサヨ 様	原田テル子 様	岸田 宣子 様
大田 元春 様	二宮 豊 様	古田 輝男 様
高田美枝子 様	西嶋 正和 様	中根 康博 様

他に1名の方を含め、10名の方からご提供をいただきました。



（ご遺族のご了解をいただいた方のみ氏名を掲載しています。）



☆☆☆知っちよる?? 聞いちよる!! ☆☆☆

臓器提供が行える施設をご存知ですか？

心停止後の提供は手術室がある病院で行えますが、脳死での提供は「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針で定められており、山口県内では以下の通りです。

心停止後に提供できる施設	脳死で提供できる施設
手術室のある病院すべて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関門医療センター ・ 下関厚生病院 ・ 山口大学医学部附属病院 ・ 宇部興産中央病院 ・ 山口県立総合医療センター ・ 徳山中央病院 ・ 岩国医療センター

～こころ温まるご支援ありがとうございます～

平成22年12月から平成23年11月末までの間、大勢の皆様から3,931,608円のご支援をいただきました。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
中国電力労働組合	1,000,000	中川 修	7,000	門田 京治	3,000
共英製鋼(株)山口事業所	1,000,000	(医)岡医院	6,859	川瀬 新一	3,000
防府ライオンズクラブ	200,000	楠ライオンズクラブ	5,682	河谷 九一	3,000
田中としろう眼科	80,000	鈴木歯科	5,296	河村 三重子	3,000
徳山商工会議所(徳山ツリー祭募金)	75,839	一井 秀子	5,000	国益 演子	3,000
近藤眼科	60,000	内田 博三・久美子	5,000	桑原 櫻子	3,000
(医)三生会 みちがみ病院 道上 文和	50,000	江本 正	5,000	坂本 久美子	3,000
河冬内科医院	50,000	岡田 秋子の遺族	5,000	坂本 保子	3,000
小幡眼科	36,815	岡本 幸江	5,000	柴田 繁美	3,000
桂商事株式会社	30,000	岡山 孝子	5,000	清水 隆	3,000
酒田 三男	30,000	奥 稔子	5,000	じょうのクリニック 城野 憲史	3,000
(医)大西眼科 理事長 大西 徹	22,121	おりたクリニック	5,000	澄川 成子	3,000
(医)社団 浅山眼科	21,000	株式会社 タケシタ	5,000	高橋 政孝	3,000
山口大学朋和会	20,568	神崎 幸子	5,000	田中 清子	3,000
(財)朋和会	20,154	神崎 貢	5,000	椿 包光	3,000
(医)健幸会兼田医院 理事長 兼田健一郎	20,000	木藤 秋吉	5,000	長岡 麻里子	3,000
平尾泌尿器科 平尾 博	20,000	窪井 美代子	5,000	中野 公史	3,000
宇部記念病院	13,829	窪川 百合枝	5,000	野村 恒民	3,000
又坐 紀枝	12,000	重本 秀明	5,000	野村眼科	3,000
楠ライオンズクラブ	10,190	下関中央ライオンズクラブ	5,000	平本 光雄	3,000
(医)光成会 梶原眼科医院 梶原功一	10,000	正司眼科医院	5,000	藤井 一雄	3,000
(医)周南眼科 理事長 梶原 良	10,000	瀬尾 ヒサ子	5,000	船場 満	3,000
(医)竹内医院 理事長 竹内 清海	10,000	中西 多美子	5,000	向井 保子	3,000
(医)永谷眼科	10,000	中村 直美	5,000	山田 テル子	3,000
(医)中山医院 理事長 中山 実	10,000	鍋井 邦久・恵子	5,000	山本 裕	3,000
(株)バナドット 代表取締役 平原正軍	10,000	名和田 敏子	5,000	田辺 義幸	3,000
石野 清	10,000	二家本 晃	5,000	隅 波満子	2,805
行本 素二	10,000	西村 望・敦子	5,000	岡 正朗	2,650
医療法人 社団 藤井クリニック	10,000	新田 敏子	5,000	原田 春男	2,500
岩国 腎友会	10,000	林 政子	5,000	赤川 悦夫	2,000
上野 儀治	10,000	匿名希望	5,000	秋元 敏雅	2,000
売豆紀 雅昭	10,000	藤永 公然	5,000	浅川 キヨ子	2,000
梅原 豊治	10,000	正木 房江	5,000	麻野 他郎	2,000
大坪 誠	10,000	榎谷 紀子	5,000	浅原 茂	2,000
金子 正男	10,000	松本眼科	5,000	池田 龍次	2,000
川口医院 川口茂治	10,000	山口大学眼科 鈴木 克佳	5,000	石田 昭二	2,000
河村 数男	10,000	山崎 敏男	5,000	石橋 清子	2,000
岸野 昭二	10,000	吉田 まゆみ	5,000	泉 敦子	2,000
岸野 多美恵	10,000	吉田 力久	5,000	泉 信太郎	2,000
さがら眼科クリニック 相良 健	10,000	渡辺 春枝	5,000	磯中 かおる	2,000
佐藤 和子	10,000	岩本 哲男	4,000	板村 美智子	2,000
師井 庸夫	10,000	大井 恵美子	4,000	市川 江美子	2,000
柴山眼科 柴山 義信	10,000	荻原 柳子	4,000	伊藤 和子	2,000
嶋元医院	10,000	合志 栄一・愛子	4,000	井藤 洋子	2,000
平田(住所、氏名不明)	10,000	水津 昭	4,000	犬飼 治子	2,000
鈴木 紘子	10,000	匿名希望	4,000	岩崎 ちさき	2,000
園田 康平	10,000	猶原 雄甫・友子	4,000	岩本 政幸	2,000
種谷 覚(種谷 充子の遺族)	10,000	藤重 幸子	4,000	牛尾 静子	2,000
寺西眼科	10,000	溝部 静政・孝子	4,000	宇都宮医院 宇都宮 陽	2,000
トモヤオート株式会社	10,000	よなみや薬局	4,000	太田 敏郎	2,000
中野 朋子	10,000	(医)白和会しらさわ内科クリニック白澤宏幸	3,000	大野 喜美枝	2,000
中野 博之	10,000	(医)社団・素心会 神徳内科	3,000	小笠原 万里枝	2,000
はらクリニック 原 紀正	10,000	(有)あさ薬局	3,000	匿名希望	2,000
原田 毅	10,000	アイエム薬局	3,000	岡田 事	2,000
判野 昌恒	10,000	秋元 悦夫	3,000	岡田 悟	2,000
匿名希望	10,000	石原 栄子	3,000	岡田 裕子	2,000
宮川 健	10,000	小野 泰應	3,000	奥田 斉	2,000
山田 文治	10,000	角 昭生	3,000	緒本 花子	2,000

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
柏村 宣男	2,000	佃 洵	2,000	峯石 喜代子	2,000
柏村 康恵	2,000	寺戸 久枝	2,000	三穂野 裕亮	2,000
柏原 千恵子	2,000	匿名	2,000	匿名希望	2,000
賀田 政子	2,000	富田 恒彦	2,000	匿名希望	2,000
片山 万喜子	2,000	豊岡 みや子	2,000	村岡 満	2,000
片山クリニック腎友会会長 大井 康生	2,000	中井 菊枝	2,000	村上 キミエ	2,000
加藤 政市	2,000	永井 彌八	2,000	村上 徹山	2,000
要木 神子	2,000	永井 彌八	2,000	村上 乃里子	2,000
金子 成志	2,000	中岡 文子	2,000	村田 昭輔	2,000
金子 豊	2,000	中島 良博	2,000	村田 康枝	2,000
兼重 義博	2,000	中原 清光	2,000	村田 良夫	2,000
神崎 洋美	2,000	長村 勝美	2,000	村本 英夫	2,000
上野 善信	2,000	中山 浩二	2,000	安田 康子	2,000
上福 幸代	2,000	中山 富子	2,000	柳上 京子	2,000
河岡 淑江	2,000	西村 一良	2,000	柳本 滋	2,000
川頭 千里	2,000	西村 良恵	2,000	山口 清臣	2,000
川口 博子	2,000	西村 米子	2,000	山崎 徳代士	2,000
河村 昌枝	2,000	西本 陽子	2,000	山下 房江	2,000
北坂税理士社会保険労務士事務所	2,000	野村 俊子	2,000	山根 勇	2,000
木下 敬太郎	2,000	秦 昭治	2,000	山本 カヨ子	2,000
木下 艶子	2,000	浜田 順子	2,000	山本 健次郎	2,000
木原 順子	2,000	浜田 ヒロ子	2,000	山本 茂子	2,000
木村 之也	2,000	浜野 小優美	2,000	山本 勸	2,000
清弘 和毅	2,000	林 宏海	2,000	山本 隆	2,000
國重 美代子	2,000	林 佳子	2,000	山本 剛士	2,000
國本 律子	2,000	原 祐二	2,000	山本 東正	2,000
桑田 美登里	2,000	原田 知枝	2,000	山本 昌子	2,000
桑田 亮三	2,000	伴 節子	2,000	山本 美津子	2,000
厚東 眞澄	2,000	東川 義一	2,000	山本 基雄	2,000
甲藤 祐子	2,000	樋口 伸久	2,000	山本 幸恵	2,000
五熊 猛	2,000	日下 貴志	2,000	山本 洋二	2,000
小林 菊恵	2,000	平田 保男	2,000	浴本 武士	2,000
小林 國伴	2,000	弘田 頼子	2,000	浴本 恒子	2,000
近藤 弘・道子	2,000	弘長 久美子	2,000	浴本 武士	2,000
ざいつ内科クリニック 財津 謙	2,000	福田 康英	2,000	横山 満輔	2,000
佐伯 孝晴	2,000	福田 幸生・英子	2,000	吉井 定信	2,000
坂井 恵子	2,000	福田 好孝	2,000	吉川 正範	2,000
坂根 すえの	2,000	福屋 好子	2,000	吉田 功	2,000
静間 絹枝	2,000	藤井 充代	2,000	吉田 幸子	2,000
静間 眞佐恵	2,000	藤田 昌三	2,000	吉光 一枝	2,000
静間 米満	2,000	藤田 信夫	2,000	若崎 道頼	2,000
柴田 幸子	2,000	藤田 素子	2,000	和田 聡	2,000
城 知保子	2,000	藤永 保志	2,000	渡辺 康子	2,000
城下 弘子	2,000	藤村 達生	2,000	林 貞男	1,500
真田 明子	2,000	藤本 隆一	2,000	翁林 和恵	1,000
新家 善和	2,000	古場 正幸	2,000	河内 節子	1,000
末永 典博	2,000	堀永 敦臣	2,000	黒石 信彰	1,000
角 喜代子	2,000	前田 智子	2,000	高橋 静	1,000
角 通夫	2,000	前中 美代子	2,000	多田 三千代	1,000
隅谷 美佐子	2,000	榊野 文子	2,000	築森 雪枝	1,000
高木 千枝子	2,000	増村 多美子	2,000	中野 和之	1,000
高山 岳秀	2,000	松浦 正人	2,000	中野 須美子	1,000
高山 富美子	2,000	松原 守	2,000	長松 稔	1,000
武居 智子	2,000	松原 道江	2,000	林田 ツル江	1,000
竹田 憲生	2,000	松本 茂子	2,000	藤井 義信	1,000
竹林 昭明	2,000	松本 順二	2,000	藤永 登志子	1,000
竹部 陽一	2,000	松本 正幸	2,000	本田 登美子	1,000
田中 紀子	2,000	松本 元枝	2,000	松浦 孝二	1,000
田中 謙治	2,000	益原 美代子	2,000	松浦 節子	1,000
匿名希望	2,000	三浦 清隆	2,000	松田 則光	1,000
田中 聖児	2,000	道永 信子	2,000	村田 三枝子	1,000
田中 秀幸	2,000	三吉 矩子	2,000	山下 智江	1,000
田中 由美子	2,000	三戸 祥一・菁子	2,000	医療法人社団 ウエダ眼科	800
谷口 秀夫	2,000	三戸 安代	2,000	合計	3,931,608
玉川 豊	2,000	港 良弼	2,000		

伝・言・板

- ご住所、お名前、物故等の変更がありましたらお知らせください。
- 臓器提供意思表示カードや運転免許証及び健康保険証の裏面に臓器提供の意思表示欄があります。臓器や角膜を「提供する」「提供しない」ご自身の意思をご記入ください。
- 講師派遣制度
「臓器及び角膜の提供や移植について」など、移植医療の普及啓発や提供が発生した場合を想定した講演会や研修会に講師を派遣します。派遣に伴う費用は不要です。ご活用下さい。
- 学習用や普及啓発用のパンフレットやグッズを用意しています。必要な方はご連絡下さい。送料は当方で負担します。
- ホームページを改修しました。ホームページアドレスは次のとおりです。
<http://www.y-ishoku.org>

献眼の連絡 お亡くなりになられた時、ご相談、事前連絡など

0120-12-1110 (平日8:30~17:15)

0120-12-1116 (平日夜間・土・日・祝日・休日)

臓器提供の連絡 ご相談、事前連絡など

0120-12-1110 (平日8:30~17:15)

090-8718-2894 (終日)

0120-78-1069 (終日)



●設置にご協力を!!●

支援型自動販売機 / 募金箱を設置していただける医療施設及び事業所を求めています。

臓器・アイバンク事業を支援するため、コカ・コーラ（株）のCSR事業として自動販売機を設置し、販売手数料の一部を当複合バンクにご寄付いただきます。募金箱を含め、(財)やまぐち角膜腎臓等複合バンクが作成するパンフレット類やイベントの費用など、移植医療の普及啓発活動資金として活用します。



萩市 畔亭様



山口市 小林眼科様

(財) やまぐち角膜腎臓等複合バンクの連絡先

〒753-8790 山口市滝町1-1 県庁6階 地域医療推進室内

電話 **083-932-0743** FAX **083-933-2939**

e-mail bank2@crocus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.y-ishoku.org>